

氷見の元気を発信する情報誌

ひま

広報

11

November.2016

No.757

氷見のお魚、やっぱりおいしい！
魚食文化リーディングプロジェクト
始まりました (特集記事は2ページ)

- 5 氷見市は皆さんの恋活と婚活を応援します
- 6 ひみ色彩景観塾
- 8 氷見市地域白慢大会開催
- 9 氷見はるか氏講演会
- 21 【鳥獣被害を防ぐために私たちができること】
放任果樹が拡大させるインシシ被害

安定した雇用を創出する
基本目標 I

新しいひとの流れをつくる
基本目標 II

結婚・出産・子育ての希望をかかえる
基本目標 III

時代に合った地域をつくる
基本目標 IV

地方創生の関連記事を「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標で分類し、記事の左上にアイコンを表示しました。





氷見市は、里海と里山が近いため、四里四方（半径16km圏内）で海・里・山の幸が全て手に入ります。海・里・山の幸福の掛け算によって、魚食文化を魚単体で終わらせることなく、より厚みのある食文化を形成できると考えます。この掛け算を意識しながら、「魚食文化をリードするまち氷見」の実現に向けてプロジェクトを進めていきます。

【問合せ】

魚食文化リーダーディングプロジェクト
協議会事務局（商工業・しごとづくり・IJUターニング支援課） 74-8105

いようにする必要があります。

魚食文化を絶やさずに市内で魚食の消費を拡大すると、水産関連の事業者の産業振興につながります。また、「氷見II魚のまち」というイメージが醸成され、魚食のために氷見に観光に訪れたいという人が増える可能性が高まります。結果として、市内の事業者全体の売上が増え、市内で働く人の給料が上がるか、新しく人を雇うことができる仕事が生まれます。

魚食文化からさらなる食文化へ

氷見市に外から人を呼ぶ、または氷見市から離れる人を減らすためには、仕事づくりは重要です。魚食文化をリードすることによって、氷見市の産業の力を強め、氷見市に新しい人の流れをつくるのが可能となります。



10年、100年先も
魚のまちであり続けるために

特集
魚食文化リーダーディングプロジェクト、始動

氷見市では、8月26日に「魚食文化リーダーディングプロジェクト」を推進する協議会を発足しました。「魚食文化リーダーディングプロジェクト」は、市内の水産関連の事業者数が減少すると考えられる中、「魚食文化をリードするまち氷見」の実現をより確実に強固なものにし、10年、100年先も氷見が魚のまちであり続けるために、市内の水産関連業などを振興するための方策を考えるものです。今月号では、プロジェクトの概要をご紹介します。

プロジェクトが目指すこと

魚食文化の普及による市内の水産関連業などの産業振興のために、まずは「売上の拡大（消費の拡大）」を目指します。売上拡大のための方向性から「魚食拡大」「商品開発・販路拡大」「魚食観光推進」の3つの分科会に分かれてプロジェクトを実施します（図1）。

魚食文化を絶やさずにリードする

魚食普及を目指すものの、全国的に魚食は「1人当たり消費量」「家庭当たり消費額」ともに減少傾向が続いています。このままでは魚食文化が徐々に失われていきます。

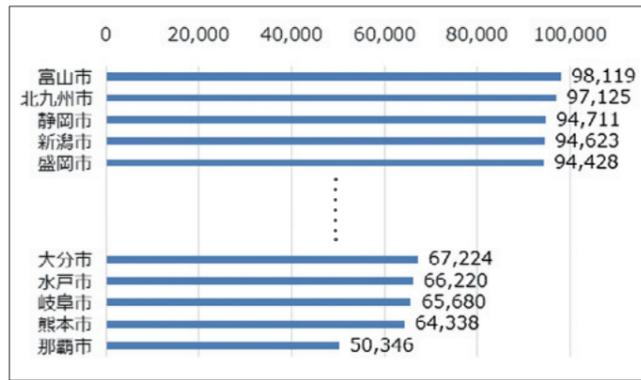
氷見市の場合、魚食の衰退は、先祖から引き継がれてきた文化を絶やすことにもなります。氷見は漁師町である上に、1世帯当たりで全国有数の魚食の消費額を誇ると推察され（次ページ「プロジェクトで取り組みたいこと」参照）、日本の魚食文化をリードするに足る市であるため、魚食文化を絶やさな

プロジェクトで取り組みたいこと

「氷見市の家計の消費調査」

総務省では、県庁所在地の市と政令指定都市の「家計調査」を行っています（図2）。平成27年の2人以上の世帯において、富山県は年間約9万8千円を魚食に費やしています。これは、調査された市の中で一番高いことから、富山市と同じ県内の氷見市も、統計はとられていないものの、魚食消費額が高いことが推測されます。

図2 都道府県庁所在地および政令指定都市別
1世帯当たり魚介類の年間の品目別支出金額
(2人以上の世帯) 単位:円



[平成27年「家計調査」結果(総務省統計局)をもとに作成]

「魚食版おらっちゃん創生」魚食文化普及プログラム事業を募集します

魚食文化の普及による市内水産関連業などを振興するために、市内水産関連業などの担い手づくり、氷見の水産物の消費拡大につながる事業について、市内各種団体・事業者から企画提案方式で事業を募集、選定し、委託します。（委託事業の完了日は平成29年3月24日予定）

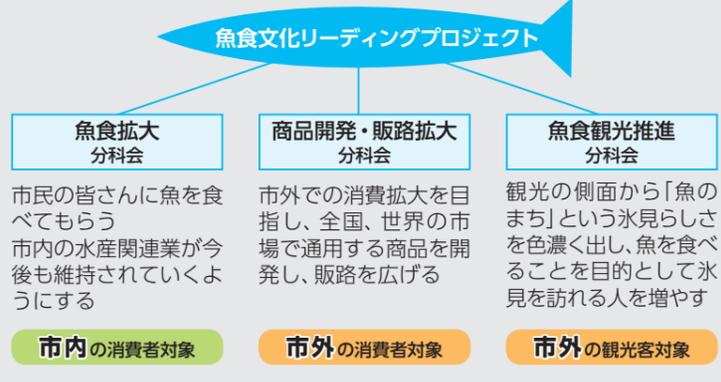
募集事業 市が求める成果（プロポーザル実施要領参照）につながる事業で、次のいずれかに該当するもの

- ① 担い手づくり事業
「就業体験の開催」「事業継承や業態転換」など
- ② 魚食拡大事業
「魚郷土料理レシピの開発」「魚料理教室の開発」など
- ③ 商品開発・販路拡大事業
「魚料理メニューの開発」「商品パッケージの開発」など
- ④ 魚食観光推進事業
「観光客用メニューの開発」「旅行商品の開発」など

【問合せ】 秘書・市民とともに創る未来政策課
74-8011



図1 魚食文化リーダーディングプロジェクトの各分科会が目指すこと



9月23日 魚食拡大分科会の様子



クリスマス、バレンタインの季節が近づいてきました 氷見市は皆さんの恋活と婚活を応援します

【問合せ】 観光交流・若者と女性の夢応援課 ☎74-8190

1128

「氷見市縁結びおせっかいさん」募集中

結婚したい人の望みをかなえるため、強い味方を大募集！市民の皆さんが「縁結びおせっかいさん」に登録して活躍すれば、新たな幸せが増え、より一層幸せなまちになります。あなたの幅広い交友関係が地域に役立ち、婚活支援の輪が広がっていきます。

多くの皆さんの登録をお待ちしています！

▼「縁結びおせっかいさん」にお願いしたい活動

- ・ 独身男女の出会いの機会のお世話
 - ・ 独身男女の出会いや結婚に関するお悩み相談
 - ・ 婚活などの研修会や情報交換会などへの参加
- ※応募方法など詳しくは市ホームページをご覧ください。

1060

「それいけ！ひみ婚♡」募集中

「今年こそいい人に出会いたい」「結婚したい」というあなた！その夢、氷見市がとことん応援します。氷見市公認「縁結びおせっかいさん」におせっかいしてもらい、ご縁を結びましょう。

対象 25歳から49歳までの独身男女で、次の要件を全て満たす人

- ①結婚願望があり、できるだけ早くご縁を結びたい人(できれば1年以内に)
- ②氷見市内に在住または、結婚後に住むことを希望する人
- ③定職または、安定した収入がある人(家事手伝いの人可)

料金 加入登録費用および年会費はすべて無料です。

※イベント参加費のみ別途必要

※加入手順など詳しくは市ホームページをご覧ください。



1095

地元でおトクに開催！費用の一部を市が負担します。

最大5万円 応援します！

対象となる同窓会

補助金交付の対象となる同窓会などは、次の4つの条件を満たすものです。

- ①氷見市内で開催すること。
- ②出席者は、21歳から40歳までの方です。
- ③出席者は男女混在の10人以上とし、男女のそれぞれ半数以上が独身者であること。
- ④市が実施するアンケート調査に協力してください。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

久しぶりに会う友達は、もしかしたら運命の相手かもしれない!?



360度の紅葉のパノラマがあなたを待っています。

秋の信州へ、いざ出陣!

「乗ってほしい」つながり。



脂が乗ってほしい「氷見」のブリと新高岡駅から乗ってほしい新幹線

新高岡駅をご利用ください 北陸新幹線「かがやき」定期便実現のため、1日500人の乗車人数UPを目標にしています。

氷見市

北陸新幹線 停車駅紹介



秋の長野は魅力一杯です。リンゴ狩りや松茸狩り、佐久鯉、馬肉、新そば、定番の善光寺、真田丸で盛り上がる上田市、白糸の滝の軽井沢など、360度の紅葉のパノラマがあなたを待っています。

北陸新幹線を利用すると、新高岡駅から長野駅まで73分、新高岡駅から軽井沢駅まで106分。日帰りが可能となります。

※料金が割引になるお得なコースがありますので、詳しくは「広報ひみ」と同時に配布されるパンフレットをご覧ください。

【問合せ】 都市計画・コミュニティデザイン応援課 ☎30-2949



観光ボランティアガイド養成塾開講 & 塾生募集!

現地見学やオリエンテーションを通して、まだ知らない新しい氷見に出会ってみませんか？ボランティアガイド「つままの会」による市内の観光名所の案内や、各種体験型観光をお楽しみいただけます。この塾では、氷見をもっと知りたい、氷見の魅力をもっとの人に伝えたいという方を募集しています。各月1回、全10回開催予定です。

●第1回講座

日時 11月24日(木) 午後1時30分～3時

場所 市役所地域協働スペース2・3

内容 オリエンテーション

講義(観光とは？氷見の観光について)

定員 20人

※申込人数が少ない場合は中止となります。

※第2回講座の日時・内容は「広報ひみ12月号」に掲載します。

【問合せ】 観光ボランティアガイド養成塾

成塾運営委員会事務局(観光交流・若者と女性の夢応援課、つままの会)

☎74-8106



HIMI X KOI X DEAI

～海浜植物園でイタリアンパーティー～

男性限定セミナー開催!
「婚活のためのモテ講座」
受付13:00～講座13:30～15:30(予定)
※パーティーに参加希望の男性は受講必須です。

集合 シーサイドハウス ボルカノ (氷見市海浜植物園内)
参加費 男性 5,000円 女性 2,000円 (税込)
対象 25～39歳の独身男女 40名

お申込み 専用WEBフォームまたはFAXにてお申込みください。
WEB himi-deai.com
FAX 050-3156-7901
締切 11.14(月)
※応募多数の場合は抽選となります。●複数名でお申込みいただいた方は、代表者様にご連絡いたします。
●締切後、応募者の方へ参加可否のご連絡を郵送にてお送りいたします。開催3日前までに連絡がない場合は、お手数ですが担当課までお問合せください。

ひみ 色彩景観塾

「守りたい・育てたい景観」とは何かを軸に置きながら、景観の大切さを学ぶ「ひみ色彩景観塾」が、氷見市景観計画策定委員の京都市立芸術大学の藤本英子教授を講師に招いて、3回にわたり開催されました。

この塾は、現在策定中の「氷見市景観計画」への色彩的な提案や市民への景観の理解、意識啓発を目的としています。受講者は、氷見らしい景観について考え、景観を構成する要素の一つである色彩について学びました。



氷見らしい「守りたい・育てたい景観」を選ぶ受講者

9/11 第1回

氷見の「守りたい景観」「育てたい景観」を皆さんで考えましょう

第1回目は海浜植物園で開催され、約30人の受講者が、氷見の「守りたい景観」や「育てたい景観」について考えました。藤本教授は、色彩が、色味を数字と記号で表す「色相」、明るさの度合いを表す「明度」、そして鮮やかさの度合いを表す「彩度」の3つの属性によって分類できるといった色彩の基本や、景観を守るための色彩の役割などを講義されました。

続いて、市内外で活動する高西正昭さん（氷見市造形芸術センター講座講師）、内山昭一さん（県内で活動する写真家、清水孝則さん（女良公民館長）の3人が、氷見ならではの風景を撮影した写真を紹介。その後、受講者は、氷見の写真約120枚の中から氷見らしい「守りたい・育てたい景観」と感じたものを選び、その理由を発表しました。



藤本英子教授



氷見ならではの風景写真を紹介

9/20 第2回

景観写真から「ひみいろ」を調べよう

第2回目はまちづくりバンクで開催され、藤本教授による「色彩の基本」を学んだほか、第1回目の受講者により選ばれた10枚の「守り・育てたい景観」の写真を構成する色彩を調べました。グループに分かれ、それぞれの写真にどのような色があるか確認した上で、各写真ごとに3色の「氷見らしいと思う色」を選びました。

選んだ色の中には、新緑の山々の「こい黄緑色」や立山連峰の「青みの薄い灰色」、富山湾の「くすんだ青色」などが選ばれ、それぞれに仮ネーミングを付ける作業を行いました。

受講者からは、「少しの色の違いで景観の印象がガラリと変わる」「残したい景観にはどこか落ち着く色がある」といった意見がありました。また、受講者は作業の中で選ばれた色の中からさらに人気投票を行い、「わたしが思うひみいろ」を選びました。

受講者は、作業を通して「守り・育てたい景観を構成する色はどのような色か」を再認識することができました。



景観を構成する色を再確認



人気投票を行う受講者

10/9 第3回

ひみいろ12色を探そう

第3回目もまちづくりバンクで開催され、これまでに選別してきた40色から、投票の結果を参考に12色を決定しました。この12色は、氷見の四季の豊かさや人々の暮らしの中でなじみ深い色が選ばれています。

氷見瓦 (ひみかわら)
朝日桜 (あさひさくら)
祭赤 (さいせき)
あさまづめ*
朝焼けゴールド
若苗 (わかえ)
里山色 (さとやまいろ)
初夏ブルー
冬の立山~ (カラー)
初夏の富山湾
早朝の氷見湾
秋晴れブルー

ひみいろ12色
個性豊かで氷見を連想させる名前が決定。
※あさまづめ
東の空がうすうすと明るくなり始めてから日の出まで。この時間帯は太陽の上昇により水温が上がって、小魚が動き出し、魚の食事時間と言われています。

「色の使い方検討」ではこんなアイデアが出ました

- ・「ひみいろの絵の具」を作り、景観の絵画コンテストを開催してはどうか
- ・12色なので景観カレンダーを作ってみてはどうか。卓上タイプで日常的に確認できれば良い意識啓発になる
- ・12色を使ったラッピング用包装紙に景観のイラストを入れれば、送り先にも、送り主本人も景観を意識するきっかけになるのではないかと

当日はこれらの他にも約50個のアイデアが集まり、「ひみいろ12色」が多様な使い方ができることを確認できました。氷見市では、市内の誇るべき景観のPRのために、「ひみいろ12色」をイベントや商品開発などに幅広く使ってもらいたく、今後、色のデータを市ホームページにて無償でダウンロードできるようにします。

また、現在策定中の氷見市景観計画でも、この活動から得られた成果・ご意見を反映していきたいと考えています。

景観塾を終えて

今回の景観塾では、景観とは何かを考え、色彩が及ぼす影響と調和の大切さ、望ましい色の使い方について学びました。

受講者から「少しの色の違いで景観の印象がガラリと変わる」といった意見があったように、良好な景観を考える際に、「色彩」は重要な役割を果たします。

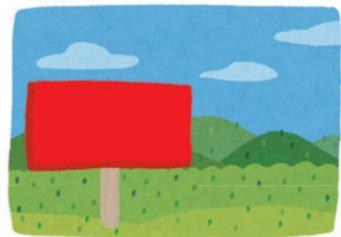
たとえば、緑豊かな景観の中に真っ赤で大きな看板が立っていたら、それは「景観に調和していない看板」であり、そのような看板がたった一つあるだけでも「守りたい景観」を阻害してしまう可能性があります。しかし、色合いや大きさを抑え、周囲の景観との調和を考えたデザインに変更することで、景観の価値だけでなく事業所の印象もぐっと良くなるはず。

このように、地域の景観を意識しながら、そのエリアに関わる人全員で取り組む必要があります。次世代に誇れる景観を形成していくために、皆さんで協力し、取り組んでいきましょう。

氷見市では、景観に関する次の取り組みを行っています。興味のある人は、お気軽にご相談ください。

- ・屋外広告物（看板など）に関する相談
- ・町家・古民家などの外観改修相談
- （本頁「建築士会と「まちづくり支援に関する協定」締結」の記事を参照ください）

大規模行為（大規模な建築物の新築や土地の造成）の届出窓口
【問合せ】 都市計画・コミュニティデザイン応援課
☎ 74-8078



1131

建築士会と「まちづくり支援に関する協定」締結

9月26日、氷見市と（公社）富山県建築士会は、「まちづくり支援に関する協定」を結びました。

この協定は、建築士会が保有する専門性（設計施工や保全・改修など）をまちづくり支援に活かすことにより、都市課題の解決と市民の福祉向上に寄与することを目的としています。協定締結の背景としては、企業支援や移住者の増加を図る手段として不動産ストック（空き家や空き店舗など）の有効活用が挙げられ、今後、建築物改修の支援を建築士会から受けられる体制を構築します。

具体的には、町屋・古民家などの保全再生のための建築相談や、空き家バンク利用者への改修アドバイス、建築や景観に関する勉強会の開催などを予定しています。

【問合せ】 都市計画・コミュニティデザイン応援課 ☎ 74-8078



第2回 氷見市地域自慢大会開催

地域課題の解決に向けた優れた取り組みを学び合う場として、地域自慢大会を開催します。市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

日 12月4日(日)

場所 ふれあいスポーツセンター会議室

第1部 地域づくり協議会取り組み発表会

市内で設立されている5つの地域づくり協議会が、取り組んでいる活動について発表します。

時間 午前10時～正午

発表予定協議会

- ・ 仏生寺地域づくり協議会
- ・ 久目地区地域づくり協議会
- ・ 加納地域まちづくり協議会
- ・ 宮田校区地域づくり協議会
- ・ NPO法人速川活性化協議会

第2部 小規模多機能自治勉強会

少子高齢化と人口減少が進む中で、地域の持続可能性を維持するために、「小規模多機能自治」についての勉強会を開催し、今後の地域づくりについて学びます。

時間 午後1時30分～4時

講師 アドバイザー 川北 秀人氏

「小規模多機能自治」とは

おおむね小学校区を単位とした住民組織で地域づくりを推進する仕組みの総称。小規模ながらも、その地域の人が主役となって、多くの機能（その地域に必要な様々な地域活動）を担う住民自治の仕組み。

※詳しくは決まり次第、市ホームページでお知らせします。

【問合せ】 秘書・市民とともに創る未来政策課

☎ 74-8013

ご存じですか？ 自治基本条例

氷見市では、まちづくりのルールとなる自治の基本理念や市政運営の方向性を示す、自治基本条例の制定に向けて取り組んでいます。

自治基本条例検討委員会で、市民の皆さんにわかりやすく条例の制定過程や内容をお伝えするため、「氷見市自治基本条例 紙しばい」や「ひみ基本ルールだより 幹」を作成しました。条例の制定に向けた取り組みについて、詳しくは市ホームページをご覧ください。

【問合せ】 秘書・市民とともに創る未来政策課

☎ 74-8013



高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市 とやま呉西圏域 連携中枢都市圏 プロジェクト が動き始めます

富山県西部6市の総人口は、2010年時点の約46万人から、2060年には、約25万人に減少すると見込まれています。人口が減ると、地域の活力が失われ、住民サービスの提供も困難になる可能性があります。一定の規模と、都市・生活機能を持つ広域的な地域で、今から連携し、人口や、活力ある経済を維持することが重要です。

そこで、もともと通勤・通学などで一体的な経済・生活圏を形成してきた県西部6市が協力することになりました。10月3日に6市の市長が署名し、とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成にかかる連携協約を締結。また、同日付けで、とやま呉西圏域都市圏ビジョンを策定しました。今後、6市が持つそれぞれの個性・特性を生かし、圏域の発展に向けた新たな取り組みや、これまで進めてきた連携をさらに深めていきます。

5星(呉西) —FIVE☆STAR— プロジェクト
とくに力を入れて取り組む5つのプロジェクトです。

- 人** 地方創生熱源育成プロジェクト / 定住・移住トータルサポートプロジェクト
- 強み** ものづくり先端技術集積・強化プロジェクト / 呉西の「稼ぐ力」新創造プロジェクト
- つながり** 呉西エリアシームレスプロジェクト



【問合せ】 秘書・市民とともに創る未来政策課 ☎ 74-8011

まちづくりセミナー 米良はるか氏講演会

クラウドファンディングを始めたきっかけ

大学生の時に、たまたまパラリンピックノルディックスキートの荒井監督の記事で、強豪ではあるが資金難により欧州のチームと張り合うことが難しい状況になっているという記事を読みました。この記事を見て、荒井監督やチームのために何かしたいと考えました。

当時は、インターネットを使った取引が盛んでした。応援資金を募るウェブサイトを立ち上げたところ、目標額100万円を上回る120万円が集まり、荒井監督に送りました。お金が集まったからというわけではないかもしれませんが、このチームは金メダル2個の獲得という優秀な成績を収めました。

この経験から、「特別な存在ではなくても、やりたいと思ったことを実行すれば、人の役に立ち、社会を変えることができる。そして、荒井監督のような熱い思いがある人を支援できる環境が必要である」と考えました。

それからというもの、私の行動指針

は、「やりたいことをやってみよう」に変わりました。資金を集める手段としてインターネット分野の最先端で学びたいと考え、アメリカのスタンフォード大学へ留学進学しました。

クラウドファンディングとは

クラウドファンディングの仕組みは2008年から始まったとされ、その年に200件ものプラットフォーム(基盤)が誕生しました。インターネットの普及により、個人がSNSを利用して資金を集めることができる環境になっていきました。2010年、アメリカでは、クラウドファンディングは資金調達の手段として主流となっている一方、日本では未知の分野という状況の中、2011年3月29日に日本初のクラウドファンディングサービス「READY FOR」を立ち上げました。

クラウドファンディングは、学生のように実績がなくとも、共感を得られれば資金が集まります。その仕組みは次のとおりです。

①寄付型：一般的な寄付で見返りはな

い。

- ②購入型：金銭以外の物や権利などを支援金額に応じて見返り(リターン)としてお返しすること。
- ③投資型：株式上場しなくても、株式のように資金が集まる仕組み。たとえば、アメリカではスマート時計の開発で約20億円の資金が集まり、ハーバード大学に小学生を招待するのに約1億円の資金が集まりました。

クラウドファンディングの目的

資金調達はもちろん、活動をPRして顧客を募るといったニーズ調査も併せて実施できます。ある購入型プロジェクトでは、毎年ライブを無料で開催している団体が、ライブにかかる費用の2千万円を募ったところ、目標金額を達成。ライブも大成功に終わりました。

主催者は、会場使用料だけでなく、クラウドファンディングでプロジェクト自体を拡散することで、自分たちのやっていることを宣伝することができます。また、出資の見返りの「リターン」を入場券などに設定することで、観客確

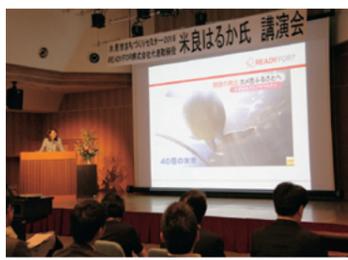
保にもつながります。

現在のREADYFORの制度では、目標金額を達成した時のみ、資金を得ることができます。また、出資者は、実行者の熱い思いに共感することで、熱狂的なファンになってくださる方々を集めることができます。

良いプロジェクトとは、支援者が具体的にイメージしやすく、共感が得やすいものです。クラウドファンディングには、地域の活動や個人の想いを実現するチカラがあると信じています。皆さんも、クラウドファンディングでぜひ自分がやりたいことに挑戦してください。

【問合せ】 秘書・市民とともに創る未来政策課 ☎ 74-8013

米良はるかさん
1987年生まれ。国内最大のクラウドファンディングサービスを提供するREADYFOR株式会社代表取締役を務める。



講演会の様子

秋の感謝祭

①第26回氷見市菊花大会
期間 11月2日(水)～4日(金)
(4日(金)は特別開園します)

②秋植えの花苗・球根の即
売会

日時 11月3日(木・祝)
午前9時30分～
※詳しくは、「広報ひみ10月号」
20ページをご覧ください。

クリスマスフェア
「ポインセチアと
シクラメン展」

期間 11月23日(水・祝)～
12月25日(日)

場所 植物園1階メイン
ホールほか

入園料 大人200円、中
学生以下無料

内容 クリスマスを鮮やか
に彩るポインセチアとシ
クラメンを展示します。

日時 11月6日(日) 午前10
時～

場所 植物園2階ワーク
ショップおよび外構

料金 無料

持ち物 軍手、はさみ、防寒
具(雨具)

内容 縄の縛り方や雪囲
い・雪吊りの基本につい
て講義・実技を行います。

申込締切 11月5日(土)

クリスマス
フラワーアレンジメント
教室

日時 12月7日(水) 午後2
時～

場所 植物園2階ワーク
ショップ

講師 仕切喜久子さん

定員 30人

材料費 2700円(花器
付き)

持ち物 花切ハサミ
申込締切 11月30日(水)

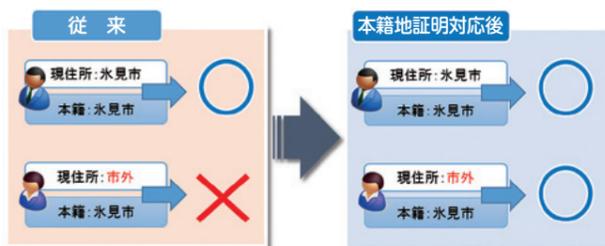
※締切後のキャンセルはでき
ません。

※各教室は電話またはFAXで
お申込みください。FAXの
場合は住所、氏名、電話番号、
教室名を記載してください。

【申込・問合せ】 海浜植物園
91-0100
FAX 91-4567

本籍地証明書交付サービスを開始しました

コンビニ交付サービスで、新たに本籍地証明書
交付を10月31日(月)から開始しました。
マイナンバーカードを利用して、
「本籍地」が氷見市で
「住民登録地」が氷見市以外の人
が、
戸籍謄(抄)本や
戸籍の附票
を全国のコンビニエンスストア
で取得できるようになりました。
※11月末に対象者に「お知らせ通知書」を郵送します。



【問合せ】 市民課 ☎74-8051



コンビニ交付サービスとは

マイナンバーカードを利用して、氷見市が発行する住民票の写し、戸籍謄(抄)本、戸籍の附票、印鑑登録証明書が、全国のコンビニエンスストアのキオスク端末(マルチコピー機)から取得できるサービスです。※印鑑登録証明書はすでに印鑑登録済の人が対象となります。氷見市では、3月31日からこのサービスを実施しています。

インフルエンザの予防接種を受けましょう

インフルエンザの流行する時期が近づいてきました。予防接種を受けてから効果が現れるまでには2週間程度、効果の持続期間は約5か月といわれています。予防接種の有効性を高めるために、早めに予防接種を受けましょう。

予防接種費用を一部助成します

対象 接種日現在、市内に住所があり、次の①または②に該当する人

- ①65歳以上の人
- ②60歳以上65歳未満で、心臓・じん臓・呼吸器の機能の障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある人(身体障害者手帳1級相当)

期間 11月1日(火)～12月22日(木)

場所 市内指定医療機関(右表のとおり)

※市外の医療機関などに入院・入所して、その施設内での接種を希望する人は、健康課にお問い合わせください。

個人負担金 1500円

※医療機関に予約をしてから接種を受けてください。

※接種を受けるときは、必ず健康保険証をお持ちください。

【問合せ】 健康課 ☎74-8062

市内指定医療機関

医療機関名	所在地	電話番号
織坂内科医院	伊勢大町一丁目	72-6206
鹿嶋小児科医院	加納	72-1557
加藤医院	北大町	72-0608
金沢医科大学氷見市民病院	鞆川	74-1900
河合内科医院	中央町	74-5178
久目診療所	触坂	76-1088
澤武医院	幸町	72-0118
嶋尾内科医院	阿尾	72-0622
白石整形外科医院	柳田	91-5355
整形外科伊藤医院	窪	91-0220
高木内科医院	大野	72-8686
高嶋クリニック	丸の内	72-0834
てらにし耳鼻咽喉科クリニック	本町	73-8080
中村記念病院	島尾	91-1307
新鞍小児科医院	南大町	72-3830
西野医院	窪	91-7500
広瀬外科医院	本町	74-2600
福田内科医院	丸の内	72-5610
福老館クリニック	堀田	91-7720
ふるさと病院	鞆川	74-7061
正橋皮膚科医院	丸の内	72-0570
松井内科クリニック	伊勢大町二丁目	72-0074
山岸小児科医院	朝日本町	74-0258
陽和温泉病院	堀田	91-2751

1歳の誕生日の前日までに3回の接種を受ける必要があります。できるだけ早めに予約し、予防接種を受けましょう。

対象 平成28年4月1日以降生まれの生後2か月から1歳に至るまでの乳児

※詳細は市ホームページをご覧ください。

【問合せ】 健康課 ☎74-8062

1108

乳児向け
B型肝炎予防接種

無料の接種は
1歳の誕生日の
前日までです



1135

まちづくりサロン

地域を元気にする
仕事づくり 山里編

井上達哉氏講演会

「地域と森の未来をつくる
バリニューチエーン」開催

岡山県で「百年の森林構想」を掲げ、地域にあるものを新たな価値観を持ったビジネスに変えるローカルベンチャーを10社以上誕生させた(株)西栗倉・森の学校。社長の井上達哉氏を講師にお迎えし、地域の森林資源を元どのように仕事をつくり、木のある暮らしを提案してきたかをお話しいたします。市内の里山活動の事例発表や情報ブースもあります。

日時 11月8日(火) 午後7時～9時
※情報ブースは午後6時からご覧になれます。

場所 いきいき元気館3階ホール

【申込・問合せ】 電話やFAX、メールにてお申込みください。

秘書・市民とともに創る未来政策課
☎74-80013
FAX 74-8255

Mail: hishoseisaku@city.himi.lg.jp



井上 達哉氏

原子力防災訓練のお知らせ

水見市では、平成24年度から原子力防災訓練を実施しています。今年度も水見市、県の地域防災計画などにに基づき、原子力防災対策に関する機関相互の連携強化や地域住民の防災意識の向上を図るため、住民の協力を得て、富山県、石川県、事業者などと共同で訓練を実施します。

時刻	対象地域
午前7時頃	市内全域
午前8時頃	
午前9時頃	
午前10時頃	余川・碓石地域

訓練時には、市内全域に緊急速報メールや防災行政無線などによる訓練内容の配信やサイレンの吹鳴がありますので、ご理解とご協力をお願いします。特に、緊急速報メールは、マナーモードであっても着信音が鳴る場合がありますので、ご注意ください。

※もしものときの基本的な対応については「富山県の原子力防災パンフレット」、また、避難計画などの内容については「原子力防災ハンドブック」にわかりやすく掲載されていますので、ご確認ください。(県ホームページからダウンロードできます。)

全国一斉情報伝達訓練を実施します

全国瞬時警報システム(Jアラート)を用いた全国一斉情報伝達訓練の実施に伴い、防災行政無線の試験放送を行います。皆さんのご理解をお願いします。

日時 11月29日(火) 午前11時

【問合せ】 地域防災室 ☎74-8021



年末調整・税の申告の準備はお早め

年末調整の時期が近づいてきました。来年2月には所得税や市・県民税の申告受付も始まります。これらに必要な書類の中には、発行に時間がかかるものもあります。準備は早めに済ませておきましょう。

会社に勤めている人へ

▼扶養親族を確認しましょう

控除の対象となる扶養親族は、16歳以上(平成28年12月31日現在)で年間の所得金額が38万円以下の人です。年末までにその人数が変わる場合は、勤務先に提出済みの「給与所得者の扶養控除申告書」を訂正してください。

▼再就職した人は…

今年、会社を退職して別の会社に再就職した人は、今年の給与総額を元に、現在の勤務先で年末調整することになります。退職した会社から源泉徴収票を取り寄せ、現在の勤務先に提出してください。

▼控除証明書を準備しましょう

次の保険料控除を受ける場合は、証明書などを添付しなければなりません。早めに取り寄せて保管しておきましょう。

- ・ 社会保険料控除(国民年金保険料)
- ※国民健康保険税などは証明書を添付する必要がありません。納付額を確認しておいてください。
- ・ 小規模企業共済等掛金控除
- ・ 生命保険料控除
- ・ 地震保険料控除

【住宅借入金等特別控除を受ける場合】

初めて住宅借入金等特別控除を受ける場合は、確定申告をしなければなりません。2年目以降は年末調整で控除を受けることができます。

- 問合せ 税務課 ☎74-18043
- ① 税務署長が発行した「住宅借入金等特別控除証明書」
- ② 金融機関などが発行した「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」

事業主、事業所の給与担当者へ

▼年末調整説明会を開催します

日時 11月22日(火) 午後2時～4時
場所 水見水産センター
※事前に税務署からお配りする関係書類をお持ちください。

- 問合せ 高岡税務署 ☎21-2501

国民年金保険料を納付している人へ

▼控除証明書を送付します

国民年金保険料は、所得税や市・県民税の申告をする際、全額が社会保険料控除の対象となります。今年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象で、過去の年度分や追納した保険料も含まれます。また、家族の分も納付している場合は、それも加えることができます。

社会保険料控除を受けるために必要な「社会保険料(国民年金保険料控除証明書)」は、日本年金機構が送付します。9月30日までに納付した人には11月上旬に、10月1日以降に今年初めて納付した人には来年2月上旬に控除証明書が届きます。大切に保管し、年末調整や確定申告の際に提出してください。

- 問合せ 高岡年金事務所 ☎21-10057
年金加入者ダイヤル ☎0570-0003-004
(11月1日～来年3月15日)

要介護認定者の障害者控除について

障害者手帳を持たない65歳以上の人で、要介護認定を受けており、障害者に準ずると認められる場合は、「障害者控除対象者認定書」を発行しますので、申請してください。

- 問合せ 福祉介護課 ☎74-18067

平成28年分から年末調整・所得申告が変わります

▼マイナンバーについて

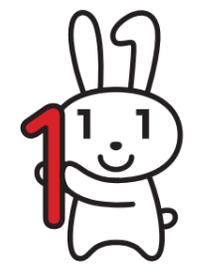
平成28年分の扶養控除申請や年末調整および税の申告には、本人と控除対象となる扶養親族のマイナンバーの記載が必要となります。

▼特別徴収の推進(完全実施)について

平成29年度からは、富山県内の全市町村において、これまで市・県民税の特別徴収制度を実施していなかった事業者(給与支払者)に対しても、特別徴収義務者としての指定を行います。

これにより、給与所得者で、これまで市・県民税を別途自分で納めていた人も、所得税の源泉徴収と同様に、原則、給与からの天引きとなります。

- 問合せ 税務課 ☎74-18043



1136 平成28年度水見市職員(土木(上級))を募集します

人口減少時代に入るといわれるなか、水見市では、未来を切り開く力と高い志のある人々が集まり「人口増につなげる」ための政策を総合的かつ強力に展開しています。多くの人たちと関わり、対話したり協力したりすることができ、主体的で創造性豊かな「人材」を求めています。ぜひ、積極的にご応募ください。

採用区分 土木(上級)
募集人数 2人程度
受験資格など 昭和32年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づき大学(4年制)において土木工学に関する課程を修めた人もしくは平成29年3月までに修める見込みの人、または1級土木施工管理技士の資格を取得している人もしくは平成29年3月までに当該資格を取得する見込みの人

第1次試験
日におち・会場 11月19日(出) 水見市役所
選考方法 適性試験、エントリーシート
受付期間 11月10日(木)まで(土・日曜日・祝日を除く。郵送の場合は11月10日(必着))
受付時間 午前8時30分～午後5時15分

※募集案内、申込書は市ホームページからダウンロードできますので、詳細はそちらをご覧ください。
【問合せ】 総務課 ☎74-180031

9月市議会定例会

9月市議会定例会は、9月5日に開会し、16日までの12日間の会期で行われました。今定例会では、議論の結果、当局が提案した予算の一部が減額され、修正可決いたしました。その他の提出された議案などについても慎重に審議され、それぞれ可決・承認されました。また、平成27年度一般・特別会計、水道事業会計、病院事業会計の歳入歳出決算の認定など4件については、継続審議されます。主な内容は次のとおりです。

予算関係

■提案した一般会計補正予算(第3号)の総額 4億9950万円
■修正減額となった予算額(1事業) 992万円
・コンピュータ推進事業費
不適切な事務処理などの再発防止や市政を取り巻く外的リスクに対応するため、内部統制の仕組化を進めるための業務委託料などの経費を計上していましたが、全額減額となりました。

■修正後の一般会計補正予算(第3号)の総額 4億8958万円
・新高岡駅利用促進事業費 1157万円
新高岡駅への北陸新幹線「かがやき」定期便停車の実現に向け、新高岡駅での乗車人数の増加を目的とした取り組みを実施します。

・コンピュータ交付サービス事業費 137万円
10月31日から開始される本籍地証明書交付サービスについて、本市に本籍地を有する市外に住所がある人へ最寄りのコンビニエンスストアで利用が可能な旨をお知らせします。

・妊産婦健康診査事業費 64万円
口腔内の疾患の予防や早期発見、治療につなげ、安心して出産できる環境を整備するため妊産婦健康診査事業において、新たに歯科健康診査を実施します。

・地区公民館管理運営事業費 323万円
公民館などの社会教育施設の利便性向上のため、独立公民館(5か所)および併設公民館(6か所)のトイレの洋式化および手すりの設置を行います。

・寄附金等支基金積立金 3億4748万円
・その他 1億2529万円
■平成28年度水見市水道事業会計補正予算(第2号)
収益的収入 1837万円
収益的支出 △2374万円
資本的収入 77万円
資本的支出 △1244万円

■平成28年度水見市病院事業会計補正予算(第1号)
収益的収入 △25万円
収益的支出 △25万円
■平成28年度水見市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
歳入・歳出 △9万円

■平成28年度水見市下水道特別会計補正予算(第1号)
歳入・歳出 470万円
■平成28年度水見市介護保険特別会計補正予算(第2号)
◎保険事業勘定 歳入・歳出 1億3963万円
◎介護サービス事業勘定 歳入・歳出 6万円

■平成28年度水見市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
歳入・歳出 △253万円
■条例関係など
水見市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の制定について

■ひみ漁業交流館魚々座条例の一部改正について
水見市議会議員及び水見市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について

■水見市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

■水見市妊産婦医療費の助成に関する条例の一部改正について

■高岡市とのとやま西圏域連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

■砺波市とのとやま西圏域連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

■小矢部市とのとやま西圏域連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

■南砺市とのとやま西圏域連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

■水見市教育委員会の任命について
谷口 貞夫氏 (栄 町) 新任
湖東 政俊氏 (伊勢大町) 新任

■人権擁護委員候補者の推薦について
高坂百合子氏 (新 保) 再任
谷内 一氏 (十二町) 再任
辻本 正樹氏 (阿 尾) 新任

■水見市議会議員会条例の一部改正について
継続審議
■平成27年度水見市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
■平成27年度水見市一般会計、特別会計歳入歳出決算の認定について
■平成27年度水見市水道事業会計決算の認定について
■平成27年度水見市病院事業会計決算の認定について